
消えたはずの友人

桜の園

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

消えたはずの友人

【Nコード】

N1709T

【作者名】

桜の園

【あらすじ】

親友のヤミが帰って来て共に暮すことになった二人
いったいどんな生活が始まる！？

(前書き)

第2話です!!

またまたよろしくおねがいします!

「この村も久々だな〜んっー空気も美味い!!」

「はっはっは〜大げさだよ!! ああっ! そうだ」

「ごっそ〜」

「はい! 遅れたけど・・誕生日プレゼント!!」

「この数って・・5年分の?」

「うん!!」

夕暮れの歩道を二人で歩いているのはとても、嬉しいくって楽しかった

「ああ!! 闇助が帰って来たって知ったら驚くだろうな〜おじさん・おばさん・・んっ? どうした?」

「なあ祐二・・俺が帰って来たってこと誰にもいうなよ? 二人だけの秘密にしてくれないか? お願いだ!」

「うっ・・んわかったよ闇助」

「ありがとう! あともう一つ、闇助じゃあなくヤミで!」

「ヤミでいいの?」

「ああ」

「じゃあ俺は祐で!!」

「わかったよ」と言う会話など色々なことを話ながら帰った

自宅

「あれ? 祐って一人暮らし?」

「うん! てかもう俺だって17なんだぞ!! 一人暮らしだって出来るもん!!」

「俺、ここに泊まっていいいの?」

「もちろん! 大歓迎だよ〜ヤミ!!」

「あんがとう! 祐!! でも・・相変わらず家事下手」

「うっ・・!! それは言うなよ!!」

「じゃあ居候の俺が家事当番ね！祐に任せると怖いし！！」

「一言余計・・・まあヤミの手料理か」

こんなにも心が温まる生活は一人暮らしをしてからは味わったこと
もない・・・

（後書き）

頑張って書きました
また次回作もお楽しみに！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1709t/>

消えたはずの友人

2011年10月9日02時06分発行